

令和元年第3回定例会

一 般 質 問

古殿町議会

令和元年第3回定例会一般質問通告書順

日付	順 番	議 員 名	党 名
9 月 11 日	1	緑 川 栄 一	無 所 属
	2	野 崎 喜 彦	無 所 属
	3	藁 谷 直 吉	無 所 属
	4	佐 藤 弘 信	無 所 属
	5	岡 部 淳 一	日 本 共 産 党
	6	佐 川 勇 司	無 所 属

番号	質問者	質問事項	要 旨
1	3 番 緑川 栄一	1. 循環型森林経営計画は (町 長)	(1) 古殿町において、森林バイオマスを利用した具体的取組・計画は。 (2) 古殿町が主体となった産業振興公社等の計画は。 (3) 老人居住施設等への木質バイオマスボイラの設置計画は。 (4) 古殿産材を加工した製品開発計画は。
		2. 宅地造成計画の進捗状況は (町 長)	(1) 宅地造成計画の進行状況は。 (2) 宅地分譲の開始時期は。
2	1 番 野崎 喜彦	1. 安心・安全に暮らせる環境づくりの推進について (町 長)	(1) 住宅用火災警報機の設置の状況は。 (2) 初期消火に有効な「消火器」の設置に向けた推進と取り組みはされていますか。 (3) 防災行政無線運用開始に当たり、「不感地帯」はないのか。屋外スピーカーで町内の全域がカバーできるのか、また障害はないのか。 (4) 定期的な防災訓練等の実施が大切だと考えるが、その計画はありますか。 (5) 町の軽犯罪等の認知件数は。(ここ5年間の推移) (6) 町内で高齢者ドライバーの「踏み間違え」等の交通事故の発生はないか。「運転免許返納者」の実態は把握しているか。
		2. 実効性のある町活性化への取り組みについて (町 長)	(1) 町活性化に向けた新たな施策の考えはありますか。 (2) 定住促進対策事業の成果と現況は。 (3) 今年度の「交流拡大事業」の進捗状況は。 (4) 宅地造成に伴う実施設計の成果と今後の見通しは。 (5) 高齢者居住施設建設の進捗状況は。
		3. 学校教育環境の現状について (町長・教育長)	(1) 小・中学生で不登校の子どもはいるか。人数とその理由は。 (2) 中学校の通学路(「登校坂」)の今後の進め方はどうするのか。 (3) ソーシャルワーカーの配置はしているのか。 (4) 「いのちの教育」や「いじめ」防止対策はどのように行われていますか。

番号	質問者	質問事項	要 旨
3	2 番 藁谷 直吉	1. 町活性化対策について (町 長)	(1) ふるさと納税返礼品で、お墓清掃代行サービス、空き家管理代行サービス、お掃除代行サービス、草刈り代行サービスなどを出来るようにする考えは。 (2) 町の広報紙「広報ふるどの」に発行月のイベント情報欄を掲載する考えは。 (3) 「憩いの森フェスタ」のプログラムに、「流鏝馬踊り流し」などを加える考えは。 (4) 町外に、遠距離通勤する若者、若い世帯などに通勤助成を支援する考えは。
4	5 番 佐藤 弘信	1. 小水力発電設備導入への考え方について (町 長)	(1) 再生可能エネルギーが国策で導入されていますが、導入の考え方を伺います。 (2) 町では再生可能エネルギーの導入を進めておりますが、町と民間の導入実績を伺います。 (3) 小水力発電は、他の再生可能エネルギーと比べてメリットは何か考えられるか。 (4) 小水力発電設備の導入を図る上で、課題となる点は何か考えられるか。 (5) 我が町の地形から水流の落差や流量が得られる箇所があると思うがどう考えるか。 (6) 課題はいろいろあると思いますが、小水力発電設備導入の考え方を伺います。
5	8 番 岡部 淳一	1. 町施策の現況と今後の取り組み (町長・教育長)	(1) 町道の現状と改良・改修の進め方は。 (2) 道路環境維持事業の今後の進め方は。 (3) 道路環境維持活動と住民との関わり方は。 (4) 各路線道路脇の支障草木伐採・刈り取りの要望は。 (5) 県道改良工事促進の方向性と見通しは。 (6) 森林再生事業の現況と今後の進め方は。 (7) 豪雨対策と防災ハザードマップ作成・配布は。 (8) 自殺対策計画事業策定後の取り組みは。 (9) 中学生学力向上事業の継続状況は。 (10) 小中学校空調設備の完了は。 (11) 行政区における限界的な班体制の認識は。 (12) 新エネルギー事業での新たな考えは。

番号	質問者	質問事項	要 旨
6	11 番 佐川 勇司	1. 若者の定住促進と 道路・河川愛護デー の作業について (町 長)	<p>(1) 若者世代向け宅地分譲計画で若者移住が期待されますが、ふるさと回帰センターとの協議進展は。</p> <p>(2) 分譲計画策定中と思いますが、売地の長期空き地や転売等は問題と思うが、どうか。</p> <p>(3) 石川地方町村広域連携事業の婚活事業「石川コン」は今後も継続すべきと思うが、現況はどのようなか。</p> <p>(4) 「石川コン」の参加条件として、女性は住所地の要件はありませんが、男性の婿入りも考え参加要件の見直しはどうか。</p> <p>(5) 道路・河川愛護デーの作業も地域戸数の減少が進み、作業量や作業時間の地域差が大きくなってきております。町と行政区との協議が必要と考えます。今後の考え方は。</p>